

四郷地域まちづくり構想「骨子案」(第6回委員会後の修正案)

構想の基本に置く考え方(基本理念)

私たちは、里山・風致地区に代表される自然や風景に抱かれながら、祭りや神社・仏閣、先人が遺した歴史や文化そして伝統を受け継ぐ中で、それらを「誇り」として住民同士の絆を生み、四郷地域での暮らしを豊かにしてきました。

私たちの願いは、大切にしてきた自然、風景、歴史、文化、伝統を、将来にわたって守り継ぎ、子や孫、その先の世代までも、この四郷地域での暮らしが豊かであり続けることです。

人口減少と少子化、高齢化が進む今日、地域で活動している一部の担い手に頼ってきたこれまでの仕組みや方法だけでは、守るべきものが守れず、引き継ぐべきものが引き継げず、また、暮らしの安心や安全が脅かされることにもなりかねません。

担い手となる人が少なくなる状況だからこそ、四郷地域の自然や歴史をよりよく知り、誇るべき私たちの地域に意識を向けてもらい、新たな担い手となり得る人たちを巻き込みながら住民同士の参加・交流の輪を広げていくことが大切です。さらには、地域外にも魅力を伝え、広く参加を呼びかけていくことも求められます。

この「四郷地域まちづくり構想」は、守るべきものを守り、引き継ぎ、将来にわたる豊かな暮らしを続けられるよう、私たちの願いを住民同士が共有するとともに、できることから地道に取り組みを進めるべく策定するものです。

四郷地域の将来像(キャッチフレーズ)

時代を越え、世代を超えて誇りを引き継ぎ、人と人とのつながりを生むまち 四郷

まちづくり構想のテーマと目標

1. 里山・風致地区を守り、生かす
2. 伝統・歴史を守り、未来へ引き継ぐ
3. だれもが安心して、安全に暮らせる環境を整える
4. 住民同士の参加・交流の機会をつくる
5. 地域の魅力を広く発信する

(参考) 各テーマ、目標についての主な意見 [左：良いところ、右：課題だと思うところ]

1. 里山・風致地区を守り、生かす (主に「自然・景観」)

<ul style="list-style-type: none">● 風致地区、里山があり、自然に恵まれている。● 季節ごとの樹木が植わり、四季を感じる散策路として活かせる。● 市街地の眺めが良い。● 花いっぱい運動等が行われている。	<ul style="list-style-type: none">● 風致地区の竹林、里山の管理が高齢化によってますます大変になる。● 風致地区の遊歩道に連続性がない。● 活用したいが、整備が必要な箇所がある。● 里山保全、耕作放棄地利用の方針が必要。● 太陽光パネルを目隠しできないか。● 美しい町に向け、もっと花壇があってよい。
---	--

2. 伝統・歴史を守り、未来へ引き継ぐ (主に「歴史・文化」)

<ul style="list-style-type: none">● 歴史ある建物がある。学校の授業にも活用。● 町並みに歴史を感じる。● 伝統行事が継承されている。● 誇れる人物が存在する。● 古来伝わる遺跡や場所がある。	<ul style="list-style-type: none">● 祭りや伝統行事への参加者が少ない。● 歴史・文化が周知されていない。● コロナで中止になった行事が復活していない。
---	---

3. だれもが安心して、安全に暮らせる環境を整える (主に「道路」「生活利便性」「安全・生活環境」)

<ul style="list-style-type: none">● 登校時のボランティアにより、信号のない横断歩道の安全確保が図られている。● 公共交通機関 (鉄道、バス) が充実している。● 生活物資を扱う店舗が充実している。● 教育機関が揃い、学ぶ環境が整っている。● 防犯カメラが設置され、児童の登下校の安全対策、不法投棄防止、不審者抑制などに繋がっている。	<ul style="list-style-type: none">● 集落内道路が狭く、緊急車両の進入、災害時の移動や消火活動が困難。● 生活道路が抜け道化し、危険である。● 天白川沿いのバス停、ごみ集積場が危険。● 高齢者の交通手段が少ない。● 排水が悪く、浸水するなどの箇所がある。● 夜間が暗く、街路灯をつけてほしい。● 空き家が多くなり、草木が放置されている。● 小学生が遊べる公園が少ない。● 民生委員等の制度を、進んだ形にできれば。● 地域住民による福祉活動の充実を。
--	--

4. 住民同士の参加・交流の機会をつくる (主に「住民意識・活動」)

<ul style="list-style-type: none">● 地域行事が活発に行われている。● 高齢者に対するサークル、集いが活発。● 住民が世話好きで、コミュニケーションが良好である。● 近所トラブル・苦情が少ない。● 挨拶をし、困っている人がいれば助ける。	<ul style="list-style-type: none">● 若年層が減って高齢化が進み、地域の将来に不安がある。● 全員参加で誰もが関わるしくみができれば。● 負担を減らし、より参加しやすくなれば。● 自治会活動への参加者が減少している。● ボランティアの持続的確保ができない。● 新旧住民間の交流が乏しい。● 交流し、お互いを知るようにしてはどうか。
---	--

5. 地域の魅力を広く発信する

<ul style="list-style-type: none">● 集落が小規模でまとまり、連携が取れていることを特徴としてアピールすべき。	<ul style="list-style-type: none">● 地区外に知ってもらおうと、自分たちの誇りにもつながる。四郷地区を発信するとよい。● 案内表示とともに散策マップがあると分かりやすく、地域住民も知ることができる。● 特産品をつくり、交流や里山の維持に充てられれば。
--	--